

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

安の中でも自分に正直になり、一步を踏み出してみようという呼びかけだと思います。酪農学園の先人たちも、不安を抱えつつも大地に立ち、行動し、知恵を深めてきました。その原点には「話してみよう、やってみよう」という無数の小さな一歩があったはず。自分事として動くその一歩が、やがて周囲をも変えていくはず。

【キリスト教コラム】《聖書》

「聖書」はキリスト教の「正典」(canon=regula fidei 信仰の規準)とされる文書(群)を表します。キリスト教が現在の旧約39巻と新約27巻の全66巻(文書)を正典として正式に決定したのは4世紀です。聖書を意味する西洋語(英語 the Bible、独語 die Bibel、仏語 la Bible など)は「文書」や「書物」を意味するギリシャ語の βιβλιον(ビブリオン)に遡り、ラテン語の biblia を経由して西洋世界に普及しました。そして、西洋語で聖書を表すときには、the Bible、die Bibel、la Bible のように、定冠詞をつけて大文字書きすることで、書物の中の書物、ほかに代えることのできない唯一の書物といった意味が込められます。もっとも、日本語には定冠詞はありませんので、その特別なニュアンスを表すために「聖書」(聖なる書物)と呼ぶようになりました(ラテン語 Biblia Sacra/Sacra Biblia、英語 the Holy Bible、独語 die heilige Schrift、仏語 la sainte Bible)。したがって、本学が「バイブル中心の教育」を掲げているのは、黒澤西藏先生をはじめとする創立者たちがこのようなキリスト教と聖書の歴史に連なり、立脚することを決断したからにはほかなりません。学生、教職員のみならず、日々の生活において「聖書」の言葉に触れ馴染んでください。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。お待ちしております。

【次回の大学礼拝】2026年5月19日(火)10時40分

聖書：ローマの信徒の手紙15章1節

奨励：「煉獄さんはどうしてカッコいいのか」

高橋優子(キリスト教教員・獣医保健看護学類教授)

讃美歌：Step by Step(英語)、Refiner's Fire(日本語)

【前回の大学礼拝】2026年4月28日(火)

学生：178名 教職員ほか：9名 合計：187名

【大学礼拝週報】2026年度 第4号(前学期第4号)

2026年5月12日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《礼拝順序》

司式 小林昭博(宗教主任・循環農学類教授)
奏楽 佐藤理恵(日本基督教団野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(農環境情報学類長・教授)

前奏 我に來たれ(J.C.バッハ作曲)
讃美歌 讃美歌461番(主われを愛す)
聖書 テサロニケの信徒への手紙一 5章16-18節
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「話してみよう、やってみよう！」
祈り 高島英也(酪農学園理事長)
讃美歌 讃美歌452番(正しく清くあらまし)
報告
後奏 愛するイエス(ギュンター作曲)

【本日の聖書】テサロニケの信徒への手紙一 5章16-18節(新共同訳)
16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

【奨励】「話してみよう、やってみよう！」

不安がないように見える人も、実は他責や言い訳で自分を守っているのかもしれない。成長は、「これではだめだ、どうしよう、なんとかしたい」と、課題を自分事として引き受けたときの不安の中から生まれると思っています。

テサロニケの信徒への手紙の「いつも喜び、祈り、感謝する」とは、不